

平成30年度子どもゆめ基金助成金申請書

平成29年 11月 6日

独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長 殿

郵便番号: 〒276-0046

住所: 千葉県八千代市大和田新田446番地226

ふりがな: とくていひえいりかつどうほうじん やちよおいこす

団体名: 特定非営利活動法人 八千代オイコス

代表者役職: 代表理事

ふりがな: かわ せじゅんいち

氏名: 川瀬 純一 印 (記名押印又は署名)

子どもゆめ基金助成金交付要綱第4条の規定に基づき、助成金申請書を提出します。

活動計画表(その2)の活動数※1

自然 件	2	科学 件	交流 件	社会奉仕 件	職場 件	総合・その他 件	読書 件
活動計画表(その2)の活動数の合計		2		件			

※1 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

助成金交付申請額 合計

480,000円

	氏 名	年齢	自 宅 住 所	勤務先/所属先	連絡順
ふりがな 団体代表者	かわ せじゅん いち 川 瀬 純 一	77	千葉県八千代市大和田 新田446番地226	無職	3
連絡先	電話:047-459-0025 携帯:09085113086		FAX : 047-459-0025 E-MAIL: j-kaw@jcom.home.ne.jp		
ふりがな 連絡担当者①	かな むろ あきら 金 室 彰	66	千葉県八千代市大和田 新田 931-1	共栄物流	2
連絡先	電話:047-459-0291 携帯:09032355821		FAX : E-MAIL: kyoei0291-tanaka@kvd.biglobe.ne.jp		
ふりがな 連絡担当者②	しま ひでみつ 島 秀光	77	千葉県八千代市大和田 新田 469-123	無職	1
連絡先	電話:047-459-9464 携帯:08020096492		FAX :047-459-9464 E-MAIL: h_shima@jcom.home.ne.jp		

注1. 団体の役員及び事務局職員等のうち、申請書の内容及び経費について責任を持って対応できる方を必ず3名(家族を除く)記入してください。

2. 記載された個人情報(「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用しません。

(申請書)別紙様式1-A その2-1

様式A 活動計画表-1

※ 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

(活動数合計 2 件中 1 件目)

団体名

特定非営利活動法人 八千代オイコス

ふりがな

かわのがっこう いん はなわがわ

活動名

川の学校 in 花輪川

活動の分野 (いずれか1つに○を記入)		活動の種類 (いずれか1つに○を記入)		この活動における、過去5年間のゆめ基金助成金交付実績 (口内に○を記入)	
体験	☐ 自然体験活動	☐ 子どもを対象とする活動	この活動における、過去5年間のゆめ基金助成金交付実績 (口内に○を記入)		
	☐ 科学体験活動	☐ 経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動			
	☐ 交流を目的とする活動	☐ フォーラム等普及活動	平成25年度		
	☐ 社会奉仕体験活動	☐ 指導者養成	平成26年度		
	☐ 職場体験活動	資格取得 ☐ 可能(資格名:) ☐ 取得条件 (口内に○を記入) ☐ 任意 ☐ 必須	平成27年度		
	☐ 総合・その他の体験活動		平成28年度		
読書	☐ 読書活動	☐ 不可能	☐	平成29年度	

活動場所 (具体的に記入)	八千代市内の花輪川(八千代市北西部に位置し新川を經由して印旛沼に流れる川。安全に遊ぶ事が出来る小川)		千葉県	都・道・府・県
参加者を募集する範囲(いずれか1つに○を記入)		募集地域(募集予定の都道府県名又は市区町村名を記入)		
☐ 24都道府県以上で募集(全国規模)				
☐ 全国規模以外で、都道府県下全域または、都道府県を越えて募集(都道府県規模)				
☒ 上記以外で、市区町村単位または、複数の市区町村にて募集(市区町村規模)		八千代市		
募集対象 (口内に○を記入)	☐ 未就学児(~ 歳)	☐ 小学生(3~6年生)	☐ 中学生	☐ 高校生
	☐ 大学生等	☐ 一般成人	☐ 保護者	☐ その他()
募集人数	子ども(高校生以下) 40名 × 2 回 = 延べ 80 名		大人 名 × 回 = 延べ 名	
募集方法 (口内に○を記入)	☐ チラシ(配先市内小学校)		☐ ポスター(掲示先:)	
	☐ 広 報 誌 (名 称 広 報 や ち)		☐ その他(オイコスホームページ)	
参加費 (口内に○を記入)	☐ 有料【1人あたり 1,100 円】		☐ 無料	
共 催	特定非営利活動法水環境研究所 (国又は地方公共団体と共催する活動は助成の対象となりません。)			

活動期間

7月28日(土) ~ 7月29日(日)

参加者がいる活動期間(事前・事後指導含む)としてください。

参加者の
安全対策
健康管理傷害保険への加入
(口内に○を記入)☐ する

しない(理由:)

安全対策: 川に入るカリキュラムは各班 2 名の指導員を当て安全管理の徹底を図る。天候悪化に備え代替カリキュラムを計画。

健康管理: 熱中症対策として参加者へ常に水分の補給促進。お茶、スポーツドリンク配備。また、救護担当を設置して緊急時の処置対応に備える。

(活動数合計 2 件中 1 件目)

団体名

特定非営利活動法人 八千代オイコス

ふりがな	かわのがっこう いん はなわがわ
活動名	川の学校 in 花輪川

この活動を計画した目的やねらい(200字程度を厳守すること)

市内北西部を流れる「花輪川」の環境保全活動を実行するため、八千代オイコスと八千代市の合意書(アダプト制度)を結んだ。
(平成20年4月)この川は、唯一川面に降りられる階段が4か所設置されていて安全に遊ぶ事が出来る川である。オイコス活動目的の川の環境整備・保全活動の他に「川の学校」などの環境教育活動もテーマとしている。子ども達に川遊びを通して、生き物や水の大切さを知り、豊かな自然環境を学んでもらうきっかけの場として開校する。平成30年で12回目の開校予定となる。

活動の目的やねらいを達成するための具体的なプログラム名と主なポイント(簡条書きで3つまで)

＜具体的なプログラム名＞	＜主なポイント＞
水の旅(水循環)と水調べ	① 雨が降った水の循環を模型で学ぶ。 ② 川水を採取しCODとPHの水質検査
川の生き物調査	① 一日目にペットボトルで作った仕掛けを設置する。(翌日獲物の確認) ② 二日目は採取網で川の中の生き物探しをする。⇒各班で生き物の発表を行う。
生き物が棲める花輪川大作戦	① 班ごとに「どうしたら生き物がたくさん棲める花輪川になるか」作戦会議を展開。 ② 全員班ごとに模造紙を使って気づいた意見を書き込み、発表する。

月	日	曜日	時間	プログラム内容(開始時間と終了時間をいれること)
7	28	土	07:30	オイコススタッフ全員川へ集合(ミーティング)当日の準備
			09:00	子ども達の集合場所 八千代緑が丘駅 受付
			09:20	花輪川の観察 駅より川の学校設定場所まで川に沿って約2kmウォーキング。
			10:30	オリエンテーション オイコス代表挨拶、講師紹介、班編成・自己紹介・スケジュール説明
			11:00	水循環の勉強、水調べCODとPHの水質検査
			12:00	お弁当タイム(各自持参の昼食)
			13:00	仕掛けの話 外部講師による説明
			13:20	各班の活動場所へ移動 川の安全について説明⇒川に入りしかけの設置
			14:00	各班本部会場場所に集合⇒本日の観察ノート記入・ふりかえりシート記入
			14:20	解散(オイコススタッフにより駅へ送る)
			15:00	オイコスミーティング(明日の打合せ)
7	29	日	08:00	オイコススタッフ集合(ミーティング)
			09:00	駅受付(オイコススタッフによる車での移送)
			09:30	今日のスケジュール 講師に網の使い方
			09:40	生き物を探そう! 階段3か所
			10:50	捕まえた生き物の観察、記録 ミルソー使用 班ごとの発表
			12:00	昼食
			13:00	観察ノートまとめ
			14:20	皆んで考えよう 班ごとの発表 意見交換 講師の講評
			15:40	終了証書渡し(君も八千代の水はかせで賞)
			15:50	終わり
指導者名		・福士 融(元高校理科教師) ・瀧 和夫(NPO 法人水環境研究所) ・桑波田和子(環境パートナーシップちば)		
当日活動に携わる指導者等の数 (実人数)		指導者	3 名	協力者 15 名
		(うち、団体構成員の人数 14 名)		

		団 体 名	特定非営利活動法人 八千代オイコス	
(活動数合計 2 件中 1 件目)		活 動 名	川の学校 in 花輪川	
区 分		金 額(円)	積 算 内 訳 (積算根拠のない経費は、B. 助成対象外経費といたします)	
支出の部	助成対象経費 A	謝金	150,000	指導者(当日)(10,000円×1名)×1日×2回 = 20,000 円
				指導者(当日)(10,000円×2名)×1日×2回 = 40,000 円
				協力者(当日) 3,000円×15名×1日×2回 = 90,000 円
		旅費	6,000	指導者(当日)20km(往復)×25円×1台×2日 = 1,000 円
				協力者15名(当日) 10km(往復)×25円×10台×2回 = 5,000 円
		雑役務費	-	
		その他の経費	印刷製本費	17,000
資料の印刷1円×2,000枚 = 2,000 円				
通信運搬費	1,240		ハガキ 62円20枚 = 1,240 円	
借料損料	3,240		研修会会場借料3,240×1部屋 = 3,240 円	
消耗品費	25,800	薬品(COD試薬)10,000円×1箱、(ph試験紙)4,000円×1箱 = 14,000 円		
		文房具A4用紙500枚×2束 = 1,000 円		
		模造紙 50円×20枚 = 1,000 円		
		封筒600円×3束 = 1,800 円		
経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動において特に助成の	-	熱中症対策 お茶2,000×2箱、 = 4,000 円		
		ドリンク100×40本 = 4,000 円		
小 計 A		203,280		
助成対象外経費 B		60,500	協力者謝金3,000円×4名×1日×2回 = 24,000 円 参加者保険料(傷害保険)50円×100人×1回 = 5,000 円 オイコス会員保険料(ボランティア保険)350円×30名 = 10,500 円 オイコス発行 かわら版特集号(外注)500部 = 15,000 円 かわら版 参加者宅配便代150円×40名 = 6,000 円	
団体の自己資金でまかなう経費 C		10,000	← 自己資金 を充当すること (積算内訳の記入は不要です)	
支出の総額 (A+B+C)		273,780	※ 収入の総額 と一致させること	
収入の部	子どもゆめ基金 助成金交付申請額	203,000	← 小計 A の千円未満を切り捨てる かつ、活動規模別限度額(市区町村規模:100万、都道府県規模:200万、全国規模:600万)を超えないこと	
	参加費収入	44,000	参加者 1,100円×40名×1回 = 44,000 円	
	補助金・寄附金等			
	自己資金	26,780	← C ≤ 自己資金 となること	
収入の総額 (=支出の総額)		273,780	※ 支出の総額 と一致させること	

(申請書)別紙様式1-A その2-1

様式A 活動計画表-1

※ 活動計画表(その2)は、参加者の募集ごとに作成してください。ただし、異なる参加者に対して同じプログラム内容を複数回実施する場合は、1件にまとめて活動計画表(その2)を作成してください。

(活動数合計 2 件中 2 件目)

団体名

特定非営利活動法人 八千代オイコス

ふりがな	こどもたち と こめづくりたいけん
活動名	子ども達 と 米づくり体験

活動の分野 (いずれか1つに○を記入)		活動の種類 (いずれか1つに○を記入)		この活動における、過去5年間のゆめ基金助成金交付実績 (口内に○を記入)
体験	☐ 自然体験活動	☐ 子どもを対象とする活動		
	科学体験活動	経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動		
	交流を目的とする活動	フォーラム等普及活動		平成25年度
	社会奉仕体験活動	指導者養成		平成26年度
	職場体験活動	資格取得	可能(資格名:)	平成27年度
	総合・その他の体験活動		取得条件 (口内に○を記入)	平成28年度
読書	読書活動		任意 ☐ 必須 ☐	平成29年度
		☐ 不可能		

活動場所 (具体的に記入)	八千代市島田	千葉県 都・道・府・県
参加者を募集する範囲(いずれか1つに○を記入)		募集地域(募集予定の都道府県名又は市区町村名を記入)
☐ 24都道府県以上で募集(全国規模)		
☐ 全国規模以外で、都道府県下全域または、都道府県を越えて募集(都道府県規模)		
☒ 上記以外で、市区町村単位または、複数の市区町村にて募集(市区町村規模)		八千代市
募集対象 (口内に○を記入)	☐ 未就学児(~ 歳) ☒ 小学生(1~6年生) ☐ 中学生 ☐ 高校生 ☐ 大学生等 ☐ 一般成人 ☒ 保護者 ☐ その他()	
募集人数	子ども(高校生以下) <u>20名 × 9回 = 延べ 180名</u>	大人 <u>20名 × 9回 = 延べ 180名</u>
募集方法 (口内に○を記入)	☐ チラシ(配布先: 市内商店と各公民館) ☐ ポスター(掲示先: 市内各公民館) ☒ 広報誌(名称: 広報やちよ) ☐ その他(オイコスホームページ)	
参加費 (口内に○を記入)	☒ 有料【1人あたり 3,000 円】(1家族当たり) ☐ 無料	
共催	(国又は地方公共団体と共催する活動は助成の対象となりません。)	

活動期間	5月6日(日) ~ 12月23日(日) (田舎等々々々)
	参加者がいる活動期間(事前・事後指導含む)としてください。

参加者の安全対策健康管理	傷害保険への加入 (口内に○を記入)	☐ する ☐ しない(理由:)
	安全対策: 当法人代表理事を安全責任者とし、協力者を安全管理者として配置する。事前下見を複数人で行うと共に、農業関係者との打合せを持ち、作業上の注意ポイントを整理しておく。参加者を5~6班に分け、各班ごとに協力者を配し作業前に内容の徹底を図る。	
	健康管理: 作業前のミーティング時、健康調査(確認票)に記入してもらい、状態を把握する。作業時はこまめな水分補給と適度な休憩を入れる。救急箱を用意し軽いけが等の初期対応に備える。	

後日 簡易なやつ 作

(活動数合計 2件中 2件目)

団体名

特定非営利活動法人 八千代オイコス

ふりがな

こどもたちと と こめづくりたいけん

活動名

子ども達 と 米づくり体験

この活動を計画した目的やねらい(200字程度を厳守すること)

八千代市(人口約20万人)は東京より30km 圏内の位置にあり、多くの人々の移住により発展してきた。しかし、市内北西部の地域には豊かな自然が残っている。最近の子どもは外で身体を使う時間も不足がちと言われている。そんな場所で子ども達に米づくりに向き合い自然の恵みを知り、体験を通して農業の営みを理解してもらう事を目的とする。

活動の目的やねらいを達成するための具体的なプログラム名と主なポイント(箇条書きで3つまで)

<具体的なプログラム名>

<主なポイント>

親子との共同作業

① 日頃、疎遠になりがちな家族の絆を作業を共にする事で深まる。②又親には子ども達の新しい側面(優れた面、興味、行動力)を見つける事につながる。

自然とのふれあい

① 田植え、草刈り、稲刈り、ハザ掛け、脱穀、の体験 ②米づくりの過程を体験する事で、郷土の自然に気づきを得、又自然保護の大切さに理解を深める。

収穫祭

① 自分たちで丹精込めて作り上げたモチ米で餅つき会。②せいろで蒸し、昔ながらのウス・杵を使ってモチをつく。8か月の共同作業をふり返って喜びを共有する。

月 日 曜日

時間

プログラム内容(開始時間と終了時間をいれること)

5 6 日 8:00~8:30 苗の準備 注意事項 班編成

9:00~15:00 田植え(手植え)

5 27 日 9:00~11:00 田の草取り ①

6 10 日 9:00~11:00 田の草取り ②

6 17 日 9:00~11:00 田の草取り ③

6 24 日 9:00~11:00 田の草取り ④

7 15 日 9:00~11:00 田の草取り ⑤ (この頃稲穂に花が咲くので観賞会も)

9 23 日 9:00~15:00 稲刈り ハザ掛け(手刈り)

10 6 日 9:00~12:00 脱穀

12 23 日 9:00~15:00 収穫祭(餅つき会)

指導者名

金室 彰(オイコス理事)

農業関係者(調整中)

農業関係者(調整中)

当日活動に携わる指導者等の数

(実人数)

指導者

3

名

協力者

8

名

(うち、団体構成員の人数

6

名)

		団 体 名	特定非営利活動法人 八千代オイコス		
(活動数合計 2 件中 2 件目)		活 動 名	子ども達と米づくり体験		
区 分		金 額(円)	積 算 内 訳 (積算根拠のない経費は、B. 助成対象外経費といたします)		
支出の部	助成対象経費 A	謝金	204,000	指導者 農業関係者10,000円×2名×2回 = 40,000 円	
				指導者 団体関係者10,000円×1名×2回 = 20,000 円	
				協力者 3,000円×8名×6回 = 144,000 円	
		旅費	10,250	指導者 団体関係者往復10km25円×1台×9回 = 2,250 円	
				協力者 往復10km×25円×6台×9回 = 8,000 円	
		雑役務費	-	= 円	
		その他の経費	印刷製本費	11,500	募集チラシ(外注)3円×3000枚 = 9,000 円
					ポスター(外注)50円×50枚 = 2,500 円
			通信運搬費	-	= 円
			借料損料	33,240	耕運機(レンタル料) 田起こし、シロカキ10,000円×2回 = 20,000 円 脱穀機(レンタル料) 10,000円×1回 = 10,000 円 収穫祭会場借料 1日分 = 3,240 円
消耗品費	18,500	苗(もち米) 1,100×15枚 = 16,500 円			
		肥料 20kg×1袋 = 2,000 円			
経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動において特に助成の対象となる経費	-	= 円			
小 計 A	277,490				
助成対象外経費 B	94,000	指導者謝金(事前打ち合わせ)5,000円×3回 = 15,000 円			
		指導者謝金(農業関係者・水管理)1人 = 20,000 円			
		食事(参加者分) 1,000円×40名分×1回 = 40,000 円			
		餅つき時のガス代(プロパンガス2本)3,500円×2×1日 = 7,000 円			
保険料 300円×40名 = 12,000 円					
団体の自己資金でまかなう経費 C	10,000	← 自己資金 を充当すること(積算内訳の記入は不要です)			
支出の総額 (A+B+C)		381,490	※ 収入の総額 と一致させること		
収入の部	子どもゆめ基金 助成金交付申請額	277,000			
	参加費収入	60,000	参加者 1家族3,000円×20家族 = 60,000 円		
	補助金・寄附金等		= 円		
	自己資金	44,490	← C ≤ 自己資金 となること		
収入の総額 (=支出の総額)		381,490	※ 支出の総額 と一致させること		

団体名

特定非営利活動法人 八千代オイコス

団体の種別 (□に○を記入)	☐ 公益社団法人	☐ 公益財団法人	☐ 一般社団法人	☐ 一般財団法人
	☒ 特定非営利活動法人		☐ 学校法人	☐ 社会福祉法人
	☐ 民間企業	☐ 法人格なし	☐ その他()	
団体URL				
団体設立年月	西暦 2001 年 12 月	団体の活動範囲	千葉県八千代市	
団体が管理・運営する施設(※指定管理施設を含む)				
団体設立の経緯・沿革	2001年12月NPO法人八千代オイコス設立。当初オイコス事業として①よみがえれ花輪川等の河川浄化事業②農業体験事業(畑作、水田耕作、炭焼き)を立ち上げた。更に花輪川事業の拡大を図る為一般会員の募集を積極的に行う。花輪川側道を散歩コースとして楽しめる美観・景観づくりを行政との協力を得て協同構築を行う。また年間活動事業に「自然環境に関する意識開発の為の教育支援事業」を掲げ、小学生を対象に川を通して水の大切さや生き物等の自然を学ぶ事に力を注いできた。「川の学校」の開設。平成16年社団法人河川協会「河川功労者」賞、平成24年環境省「水・土壌環境の保全活動功労賞」、平成26年印旛環境基金「第3回印旛沼流域再生大賞」を受賞した。			
団体概要	<目的>・地域の里山自然の保全を図る為の水質浄化事業・自然環境に関する意識開発の為の教育支援事業・街づくり活動に関わり行政・他団体との協同活動。 <構成>現在の会員 40 名程で、月一回の定例活動を花輪川にて活動中。			
活動実績	平成29年度(見込)	平成28年度	平成27年度	
	春秋のウォーキング、田んぼ稲作、川の学校、餅つき会等主催、ボーイスカウトとのコラボ活動	春秋ウォーキング、田んぼ稲作、川の学校、ホテル観賞会等主催	春秋ウォーキング、川の学校、ホテル観賞、田んぼ稲作等主催	
団体の財政状況	総収入	390,000円	372,456円	265,379円
	総支出	390,000円	484,230円	311,550円
	当期損益	0円	▲111,774円	▲46,171円
	子どもゆめ基金助成金の交付実績	158,800円	0円	0円
	その他の補助金の交付実績	・子どもゆめ基金 158,000円 ・八千代市市民活動支援金 97,911円	・八千代市1%支援金 62,098円	・印旛沼環境基金 99,000円 八千代1%支援金 56,165円

注) 活動実績において、過去3年間に子どもゆめ基金助成活動を実施していた場合は、必ず記入してください。

「平成29年度(見込)」は、交付決定を受けている活動に限り、活動名と交付決定額を記入してください。